

教授 矢羽野 隆 男 (男) 昭和 40 年生
(ヤハノ タカオ) (Takao Yahano)

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 大阪大学	
	取得方法	課程 平成 2 年取得	
◆ 学 歴	大 学	大阪大学文学部哲学科中国哲学専攻 昭和 63 年卒業	
	大 学 院	大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史 (中国哲学) 専攻 平成 2 年修了	
◆ 学 内 職 務 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教務部副部長 ▪ 中国語主任 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 技能検定指導教員 (漢字検定・日本語検定) 	
◆ 担当授業科目 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 中国文化史 ▪ 古典Ⅲ・Ⅳ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ アジア思想 (儒教・道教) ▪ 国語科教科教育法Ⅱ 	
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 高等学校教諭 2 級普通免許 (国語)、中学校教諭 1 級普通免許 (国語) 			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
中国哲学	日本漢学	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 漢代思想 ▪ 儒学 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 江戸儒学 ▪ 懐徳堂
◆ 研究概要	王符『潜夫論』の研究、幕末維新期の大坂漢学の研究		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本中国学会 ▪ 日本道教学会 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 東方学会 ▪ 全国漢文教育学会 	
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 懐徳堂研究 	共	平成 19 年 11 月 20 日	汲古書院
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 懐徳堂事典 	共	平成 13 年 12 月 17 日	大阪大学出版会
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 白川静の世界 I 文字 	共	平成 22 年 9 月 24 日	平凡社
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 初級中国語課本 	共	平成 22 年 4 月 1 日	駿河台出版社
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 『日本国志』研究—礼俗志「神道」— 	共	平成 15 年 7 月 31 日	四天王寺国際仏教大学 日中交流史研究会編
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 王符の学問論と「潜夫」の立場と 	単	平成 11 年 6 月 1 日	『中国研究集刊』(大阪大学中国学会) 第 24 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「長恨歌」の主題と構成—「李夫人」・悼亡詩との比較から 	単	平成 17 年 3 月 8 日	『日本語日本文化論叢 埴生野』(四天王寺国際仏教大学日本語日本文化専攻) 第 4 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 黄遵憲『日本国志』の宗教観—清末外交官の見た神国— 	単	平成 19 年 5 月 10 日	『東方宗教』(日本道教学会) 第 109 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 幕末における懐徳堂再興運動—並河寒泉日記『居諸録』に基づいて— 	単	平成 20 年 9 月 25 日	『四天王寺大学紀要』第 46 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 並河寒泉の政治思想と幕府観—鳥羽伏見戦を中心に— 	単	平成 22 年 1 月 31 日	『中国研究集刊』(大阪大学中国学会編集発行) 第 50 号

◆ その他（5件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 『潜夫論』五徳志篇にみる王符の歴史観	単	平成9年3月10日	『四天王寺国際仏教大学紀要』第29号
▪ 王符の政治思想における〈智〉	単	平成3年6月10日	『中国研究集刊』第10号
▪ 西村天囚と泊園書院と一藤沢南岳編『論語彙纂』への天囚書入れをめぐる	単	平成18年4月10日	『中国学の十字路 加地伸行博士古稀記念論集』（研文出版）
▪ 石川啄木〈浪淘沙歌〉考ーその典拠と合意とー	単	平成14年3月31日	『啄木文庫』第32号
▪ 『図書編』の成立-その易学との関連-	単	平成7年4月30日	『中国研究集刊』第16号